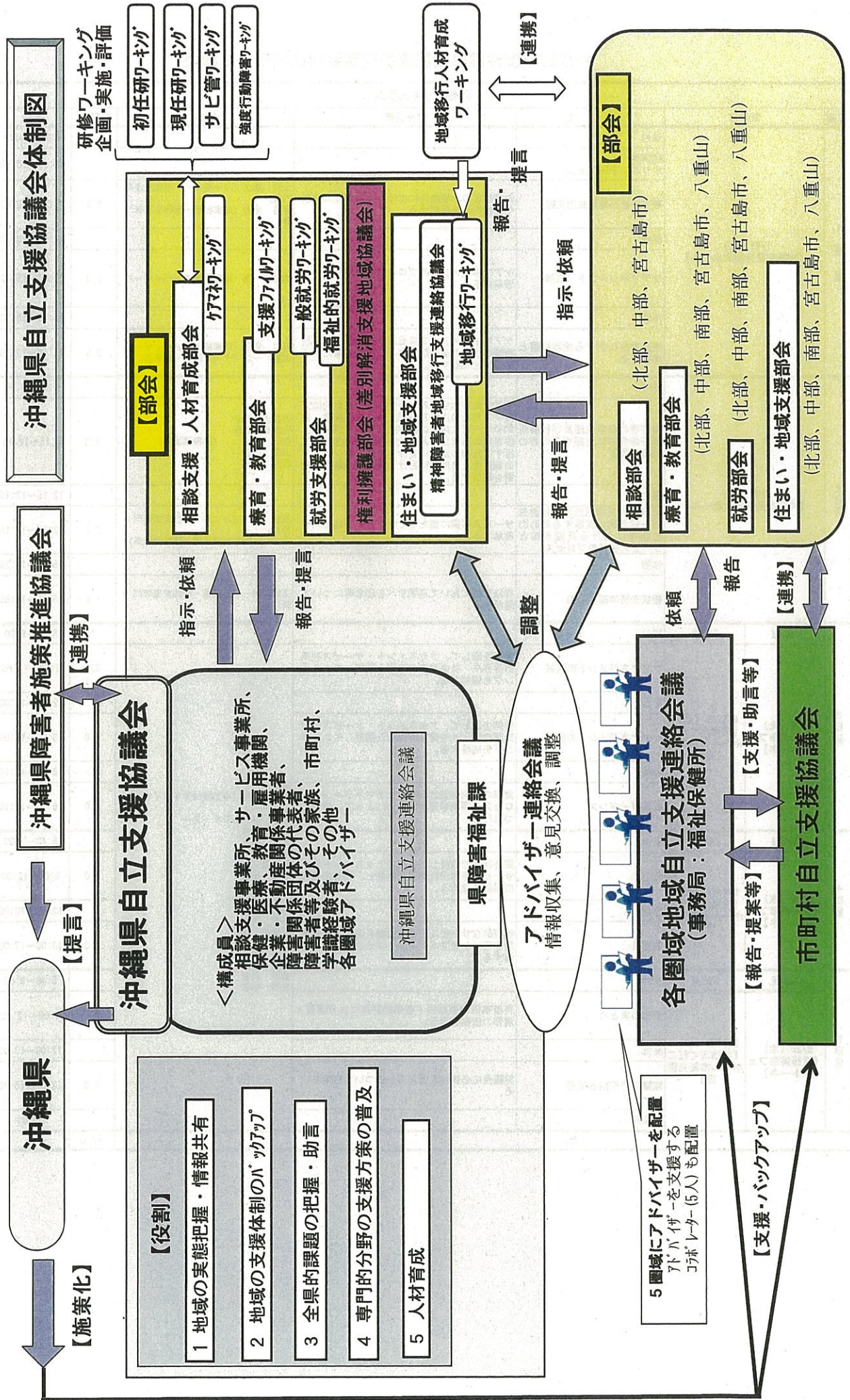


# 資料 2



平成27年度沖縄県相談支援従事者初任者研修日程表

研修カリキュラム							対象者			
日数	研修日	科目	獲得目標	講師	時間数	時刻				
1 日目	7/21 (火) 【沖縄市民会館大ホール】	受付					9:30~10:15	(5日課程受講者)	(2日課程受講者)	
		開講式・オリエンテーション					10:15~10:30			
		障害児者の地域生活支援	障害児者の地域生活における社会資源の役割や支援内容を理解する。	上関 勝之 (ハーモニー・相談支援専門員) 喜名 盛也 (ひまわり・相談支援専門員)	1.5	10:30~12:00				
		昼食				12:00~13:00				
		ケアマネジメント (概論)	ケアマネジメントのプロセスと技術について理解する。	津波古 悟 (中部圏域アドバイザー)	2.0	13:00~15:00				
		休憩				15:00~15:10				
2 日目	7/22 (水) 【沖縄市民会館大ホール】	受付					9:00~9:15	(5日課程受講者)	(2日課程受講者)	
		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律及び児童福祉法の趣旨、目的やサービス内容の基本的な理解を深める。障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律におけるケアマネジメントの制度化と市町村における相談支援事業の役割を理解する。	名嘉山 尚子 仲宗根 理沙 馬川 規子 上関 清香 石川 香那 (障害福祉課)	3.0	9:15~12:15					
		昼食				12:15~13:15				
		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律等における計画作成とサービス提供のプロセス	サービス提供に当たっての一連のプロセスを理解する。	玉城 博一 (みつ葉・相談支援専門員) 富山 (読谷村福祉課・障害福祉係)	2.0	13:15~15:15				
		休憩				15:15~15:25				
		相談支援の基本姿勢	相談支援において重視すべき理念等について理解する。	玉城 博一 (みつ葉・相談支援専門員)	1.5	15:25~16:55				
3 日目	8/18 (火) 【宜野湾市フェリスターネ】	A日程	B日程	受付			8:40~9:00	(5日課程受講者)		
		8/18 (火) 【宜野湾市フェリスターネ】	9月2日 (水) 【浦添市てだこホール市民交流室】	ケアマネジメントの実践	実例を通して、アセスメント・サービス利用計画作成・社会資源の活用と調整、モニタリングを理解する。		3.0			9:00~12:00
				昼食						12:00~13:00
				ケアマネジメントの実践	実例を通して、アセスメント・サービス利用計画作成・社会資源の活用と調整、モニタリングを理解する。		3.0			13:00~16:00
				休憩						16:00~16:10
		実習ガイダンス	実際の事例を選定して、ケアマネジメントプロセスを個別学習することによって、演習につなげる	講師 津波古 悟 (中部圏域アドバイザー) 以下 審納 盛也 上関 勝之 伊波 剛 久手堅 憲太 田盛 正士 玉城 博一 大城 奈津子 玉那覇 奈々 真壁 幸乃 渡慶次 憲路 宮城 司 新垣 優一朗 照屋 昌敏 金城 利香 池間 敬彦	1.0	16:10~17:10				
8/19 (水) 【宜野湾市フェリスターネ】	9月3日 (木) 【浦添市てだこホール市民交流室】	受付				8:40~9:00				
		演習Ⅰ	課外実習で作成した各自のアセスメント表、サービス等利用計画案を発表し、相互の事例の理解を深める。		3.0	9:00~12:00				
		昼食				12:00~13:00				
		演習Ⅱ	模擬的なサービス担当者会議を通して事例検討を行いケアマネジメント手法を具体的に理解する。		4.0	13:00~17:00				
5 日目	8/20 (木) 【宜野湾市フェリスターネ】	A日程	B日程	受付			8:40~9:00	(5日課程受講者)		
		8/20 (木) 【宜野湾市フェリスターネ】	9月4日 (金) 【浦添市てだこホール市民交流室】	演習のまとめ	発表事例の事後的・客観的評価により実習・演習の総括を行う。		3.0			9:00~12:00
				昼食						12:00~13:00
				協議会の役割と活用	協議会の必要性和運営方法について理解する。		3.0			13:00~16:00
				閉講式						16:00
計					32.0					

平成27年度 沖縄県相談支援従事者 現任者研修 日程（カリキュラム）

月日	時間	科目	実施する内容	講師	
1日目	08:30～ 08:45	受付			
	08:50～ 09:00	開講式とオリエンテーション			
	09:00～ 10:00 (60)	【講義1】障害福祉の動向について	障害者福祉施策及び関連施策に関する最新の動向を理解する。	県障害福祉課 (名嘉山 尚子)	
	10:00～ 12:00 (120)	【講義2】相談支援の基本姿勢及びプロセスについて	相談支援において重視すべき理念及び相談支援の意義や役割等について理解する。 ※意思決定支援についても触れてもらう 【次の講義との連動】	愛知淑徳大学 (谷口 明広)	
	昼食				
	13:00～ 16:00 (180)	【演習1】障害者ケアマネジメンツの実践①	支援事例等の検討を行い相談支援従事者としての実務能力を向上させる。  [前半1h]谷口さん、熊谷さんで1時間の講義（意思決定支援（発言できる環境・判断能力・自己効力感）。ケース振り返り、熊谷さんから事例紹介。	進行：中部圏域AD (津波古 悟) 講師：谷口 明広 講師：熊谷 晋	
	16:00～ 19:00 (180)	【演習2】障害者ケアマネジメンツの実践②	3人1組でのGWを行い、事例をケアマネ手法で深める。	各圏域AD	
	夕食				
	20:00～ 21:00 (60)	【講義3】地域生活支援事業について	地域生活支援事業に関連する事例を分析し、専門的な支援が必要な事例の支援方法を学ぶ。  市町村必須事業の「成年後見制度利用支援事業」を取り上げる。	ばあとなあ沖縄 (村吉 康江) サポート (伊波剛・溝口哲哉)	
	21:00～ 22:00 (60)	【講義4①】自立支援協議会について	自立支援協議会の運営等、地域の関係機関とのネットワークづくりについて理解する。 [考えてみよう]地域自立支援協議会の役割・現状・活用等（GW）	各圏域AD	
2日目	08:30～ 09:30 (60)	【講義5②】自立支援協議会について	地域自立支援協議会の上手な活用方法（講義）	各圏域AD	
	09:30～ 11:30 (120)	【演習3】スーパーバイズ①	スーパーバイズを経験することにより、相談支援の質を確保する方法を理解する。  ファシリテーションの基礎的理解	なんくる (兼濱 克弥)	
	昼食				
	12:30～ 16:30 (240)	【演習4】スーパーバイズ②	モニタリングの実際～エンパワメントのポイント発見のために～ 1モニタリングの意義 2モニタリングの進め方 3今回の演習の内容	沖縄大学 (島村 聡)	
		閉校式とアンケート回収			

## 平成27年度 沖縄県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者研修 日程表

(厚生労働省標準プログラム)

月 日	時 間	内 容	講 師	場 所
平成28年 1月14日(木)	09:30~09:50	受 付		うるま市石川会館 大ホール
	09:50~10:00	開講式 沖縄県社会福祉士会会長挨拶 及びオリエンテーション	一般社団法人沖縄県 社会福祉士会 会長 竹藤 登	うるま市石川会館 大ホール
	10:00~11:00	【障害者総合福祉法とサービス管理責任者の役割および 児童福祉法と児童発達支援管理責任者の役割】 ・障害福祉の動向について	沖縄県子ども生活福祉 部障害福祉課 名嘉山 尚子	うるま市石川会館 大ホール
	11:00~12:30	・サービス管理責任者の役割について ・権利擁護と虐待防止について ・県共生社会条例について	若竹福祉会 溝口 哲哉 チーム沖縄 上里 一之	
	12:30~13:30	昼 食		
	13:30~15:00	【サービス提供および支援提供のプロセスと管理】	和洋女子大学生生活科学 系 准教授 高木 憲司	うるま市石川会館 大ホール
	15:00~15:10	休 憩		
	15:10~16:10	【サービス提供者と関係機関の連携及び支援提供職員と関係機関 の連携①】	和洋女子大学生生活科学 系 准教授 高木 憲司	うるま市石川会館 大ホール
	16:15~17:00	【サービス提供者と関係機関の連携及び支援提供職員と関係機関 の連携②】 ・「相談支援事業所と連携してうまくいった事例報告(児と者の2事 例)」[現職のサビ管から行ってもらう]	ナチュラ福祉ネット 安里 宏之 若竹福祉会 松田 建一	うるま市石川会館 大ホール
平成28年 1月15日(金)	9:00~9:15	受 付		沖縄県総合福祉センター 各分野別会場
	9:15~12:15	分野別講義 【アセスメントとサービス提供の基本姿勢】 【アセスメントと支援提供の基本姿勢】	介護分野 知念 隆生 地域生活(身体) 杉本 香央里 地域生活(知的・精神) 吉田 英也 就労分野 仲田 直幸 児童分野 當眞 知子	沖縄県総合福祉センター 各分野別会場 沖縄県総合福祉センター 各分野別会場 沖縄県総合福祉センター 各分野別会場 沖縄県総合福祉センター 各分野別会場 沖縄県総合福祉センター 各分野別会場
	12:15~13:15	昼 食		
	13:15~17:15	分野別演習 【サービス提供プロセスの管理の実際事例研究①(アセスメント 編)】 【支援提供プロセスの管理の実際事例研究①(アセスメント編)】	演習講師 同上	沖縄県総合福祉センター 各分野別会場
	9:00~9:15	受 付		沖縄県総合福祉センター 各分野別会場
平成28年 1月16日(土)	9:15~12:15	分野別演習 【サービス提供プロセス管理の実際事例研究②(個別支援計画 編)】 【支援提供プロセスの管理の実際事例研究②(個別支援計画編)】	演習講師 同上	沖縄県総合福祉センター 各分野別会場
	12:15~13:15	昼 食		
	13:15~17:15	分野別演習 【サービス内容のチェックとマネジメントの実際(模擬会議)】 【支援内容のチェックとマネジメントの実際(模擬会議)】	演習講師 同上	沖縄県総合福祉センター 各分野別会場
	17:15~17:35	閉 講 式		沖縄県総合福祉センター ゆいホール

※研修1日目はサービス管理責任者、児童発達支援管理責任者とも共通の内容とする。

※研修2日目、3日目の内容について、上段はサービス管理責任者、下段の【】内は児童発達支援管理責任者の講義内容とする。

※研修時間、講師については諸般の事情により変更の場合もあります。

## 強度行動障害支援者養成研修（実践研修）プログラム

日時：平成28年2月25日（木）～平成28年2月26日（金）

会場：うるま市石川地域活性化センター舞天館

主催：特定非営利活動法人 ベあ・さぼーと（沖縄県指定研修事業者）

		時間	科目	内容
1 日 目	9:30	30	受付	
	10:00	5	開会（主催者挨拶）	
	10:05	20	研修の意図と期待すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎研修内容の振り返り</li> <li>・実践研修で期待されること</li> </ul>
	10:25	120	【講義】家族からの提言	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の思いと、支援者との連携</li> <li>・チームによる支援の重要性 他</li> </ul>
	12:25	45	休憩	
	13:10	210	【演習】障害特性の理解とプランニングⅠ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・強みや好みを活かす視点</li> <li>・支援の手順書の作成 他</li> </ul>
	16:40	20	【講義】まとめの実践報告①	
	17:00	20	【講義】まとめの実践報告②	
	17:20	20	1日目のまとめ	
2 日 目	9:30	10	2日目オリエンテーション	
	9:40	150	【演習】障害特性の理解とプランニングⅡ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害特性の理解</li> <li>・障害特性に基づくアセスメント</li> </ul>
	12:10	20	【講義】まとめの実践報告③	
	12:25	45	休憩	
	13:10	60	【講義】実践報告：行動障害のある人の生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構造化の考え方</li> <li>・構造化の考え方基本と手法 他</li> </ul>
	14:10	120	【演習】記録に基づく支援の評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録の情報と分析</li> <li>・危機対応と虐待防止 他</li> </ul>
	16:10	20	2日目まとめ	
16:30		修了証交付		

メモ

平成27年度 沖縄県相談支援従事者ファシリテーション研修 カリキュラム

開催日 会場	時間		科目	講師等
平成28年 2月10日 (水) 沖縄県 総合福祉 センター 視聴覚室	9:00	~ 9:30	0:30 受付	一般社団法人 ソラティオ 代表理事 岡部 正文
	9:30	~ 9:45	0:15 研修の全体像(説明)	
	9:45	~ 10:00	0:15 日頃のFTにおける困りごとや疑問の発散(ミニ演習)	
	10:00	~ 11:15	1:15 FTの基礎的理解(講義)	
	11:15	~ 12:00	0:45 講義を踏まえて初任研の演習指導方法を振り返る(演習)	
	12:00	~ 13:00	1:00 昼休憩	
	13:00	~ 13:45	0:45 再アセスメントの体験演習(見える化版演習)	
	13:45	~ 14:00	0:15 再アセスメントの指導方法を振り返る(G演習)	
	14:00	~ 14:45	0:45 ニーズ整理の体験演習(G演習)	
	14:45	~ 15:00	0:15 ニーズ整理の指導方法振り返る(G演習)	
	15:00	~ 15:15	0:15 休憩	
	15:15	~ 16:15	1:00 計画作成の体験演習(G演習)	
	16:15	~ 16:45	0:30 計画作成の指導方法と本日全体を振り返る(G演習)	
16:45	~ 17:30	0:45 全体発表と本日のまとめ		
平成28年 2月11日 (木) 沖縄県 総合福祉 センター 401研修室	8:45	~ 9:00	0:15 受付	一般社団法人 ソラティオ 代表理事 岡部 正文
	9:00	~ 9:15	0:15 昨日の振り返りと本日の流れ(説明)	
	9:15	~ 9:50	0:35 現場のケア会議やミーティング等で活用できるFT(講義)	
	9:50	~ 10:40	0:50 G別で即興の事例検討【現場編】(G演習)	
	10:40	~ 10:50	0:10 休憩	
	10:50	~ 11:40	0:50 デモで即興の事例検討【現場編】(岡部実施)	
	11:40	~ 12:00	0:20 Gごとに振り返りと明日からの実践に向けて	
12:00	~ 12:30	0:30 全体発表と2日間のまとめ		

※講義内容等は変更することがありますので、御了承ください。



# 沖縄県主催事業

## 障がい者への新しい支援のカタチ

### ～本人が真ん中のプランを作ろう～

(サービス等利用計画と障がい福祉サービスを学ぶ勉強)

最近、「サービス等利用計画」という言葉をよく聞きませんか？でも本当のところ、よくわからないという方も多いのではないのでしょうか？

沖縄県では、平成27年4月から障がい児者すべてに作成されることになった「サービス等利用計画」と市町村で受けることができる障がい福祉サービスの勉強会を企画しました。

サービス等利用計画が本人のためのより良いプランとなるよう、みんなで勉強しましょう。

(対象：障がい当事者、保護者、教職員、市町村障害福祉担当課の職員、その他支援者)

<日時> 平成28年2月27日(土)

午後2:00～午後3:30

<会場> 名桜大学 講義棟111教室 (住所:名護市為又1220-1)

<参加費> 無料

#### <プログラム>

#### (1) 講義 (午後2:00～午後3:00)

##### ①障がい福祉サービスの説明

講師 伊佐伸次氏 (名護市社会福祉課障がい福祉 係長)

##### ②サービス等利用計画の説明

講師 小浜 ゆかり氏 (さぼーとせんたーi 所長)

相談支援専門員・作業療法士

岡山県生まれ。4男1女の母。岡山県の療育機関で5年、沖縄の療育機関で17年作業療法士として勤務した後、平成19年よりNPO法人わくわくの会サポートセンターiにて、作業療法士・相談支援専門員として、障がいのある本人・ご家族支援者の地域支援を行っている。平成19年より沖縄大学非常勤講師(「子どもの障がい」担当)。

#### (2) 質疑応答 (午後3:00～午後3:30)

<主催> 沖縄県

委託先: NPO 法人おきなわ障がい者相談支援ネットワーク (OSN)

<後援> 沖縄県教育委員会

★受講にあたり、配慮(手話通訳、要約筆記、車イス等々)が必要な方  
その他不明な点がありましたら下記までご連絡くださいますようお願いいたします。

<問合せ先> 地域生活支援センターウェブ

TEL0980-53-1173 FAX0980-53-1172

沖縄県障害福祉課

TEL:098-866-2190

担当: 知念、渡久山



沖縄県障害者自立支援協議会 相談支援・人材育成部会 年間活動計画 行程表 (案)

H28. 2. 6

会議名/年度・月	H27年度			平成28年度												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
県自立支援協議会		● 2/12 ・部会報告/年間計画承認 ・各圏域報告 ・抽出課題協議													● ・部会報告/年間計画承認 ・各圏域報告 ・抽出課題協議	
相談支援・人材育成部会							● ・WG活動報告 ・各圏域報告 ・抽出課題協議								● ・WG報告/年間計画検討 ・各圏域報告 ・抽出課題協議	
ケアマネワーキング			●		●			●							●	
初任研ワーキング					○	●	●	●	★	★						
現任研ワーキング								●	●			●	★	●		
サビ管ワーキング									●	○	●	●			●	★

注1 ●は部会・ワーキング開催 ★は研修開催 ○は国研修



沖縄県障害者自立支援協議会 相談支援・人材育成部会 部会員名簿

H28. 2. 6

分野	氏名	所属・職名	部 会 員	相談支援 従事者 指導者研修 (国研修) の受講者	初任研 ワーキング	現任研 ワーキング	ケアマネ ワーキング	コラボ レーター
1 相談支援専門員	伊波 剛	(福)五和会 地域生活支援事業所 うむさばる 相談支援専門員	○			○	○	○
2	久手堅 憲太	㈱hull house 相談支援センター ハルハウス 相談支援専門員	○		○			
3	熊谷 晋	(福)残波かりゆし会 北谷町地域活動支援 センター たんぼぼ 相談支援専門員	○			○		
4	田盛 正士	(福)北谷町社会福祉協議会 地域生活支援 センター うらら 相談支援専門員	○		○	○		
5	玉城 博一	(福)残波かりゆし会 地域活動支援 センター みつ葉 相談支援専門員	○	○	○	○	○	○
6	兼濱 克弥	(公社)沖縄県精神保健福祉会連合会 相談支援事業所なんくる 相談支援専門員	○			○	○	
7	大城 奈津子	(福)糸満市社会福祉協議会 糸満市障害者 生活支援センター 陽だまり 相談支援専門員	○		○		○	○
8	南風原 礼	(公社)沖縄県精神保健福祉会連合会 相談支援事業所 ひらら 相談支援専門員	○			○		
9	玉那覇 奈々	(福)ハイジ福祉会 グリーンホーム 相談支援事業所PONT 相談支援専門員	○				○	○
10	真壁 幸乃	(特非)わくわくの会 さばーとせんたーi 相談支援専門員	○				○	○
11	渡慶次 憲路	(有)ケアセンターきらめき 相談支援事業所きらめき 相談支援専門員	○		○			
12 サービス管理責任者	比嘉 留美子	(医)社団 輔仁会 セセラぎの里 サービス管理責任者					○	
13	宮城 真幸	(福)残波かりゆし会 就労サポート e-ライン サービス管理責任者					○	
14 市町村	新川 智博	那覇市福祉部 障がい福祉課 給付2グループ グループ長					○	
15	仲村 祐歌	北谷町 福祉課 障害福祉係長					○	
16 学識経験者	島村 聡	学校法人 沖縄大学 人文学部福祉文化学科 准教授	○			○	○	
17 アドバイザースタッフ (障害当事者)	上里 一之	(特非)チーム沖縄 理事長					○	
18 圏域アドバイザー	津波古 悟	(特)なちゅら福祉ネット 広域相談支援センターfit センター長	○		○	○	○	
19	安村 勤	(特)名護市障害者関係団体協議会 地域生活支援センター ウェーブ 施設長	○		○	○	○	
20	溝口 哲哉	(福)若竹福祉会 地域生活支援センターEnjoy センター長	○		○	○	○	
21	清水 聡	(福)ムサアザ福祉会 地域生活支援センターさばーと 施設長	○			○	○	
22	津嘉山 航	(株)ゆにばいしがき 管理者	○			○	○	
23 相談支援専門員	上間 勝之	(特)名護市障害者関係団体協議会 北部障害者生活支援センター ハーモニー		○	○			
24	喜名 盛也	(福)とよみ福祉会 相談支援事業所 ひまわり		○	○			
25	平良 千恵美	(特非)ちゅらネット 相談支援事業所 ちゅらハウス			○			
26 発達障害者支援センター			○					
人数			18	3	11	12	17	5

注1 発達障害者支援センター(1人)は、予算定数の別枠で参加できる。

注2 おきなわ障がい者相談支援ネットワークからの派遣とする者も含まれるようにする。

注3 圏域アドバイザーは、構成員に指定されていないワーキングに、部会員として出席できる。

## 沖縄県在宅小児慢性特定疾病児等レスパイト事業並びに介護者派遣事業実施要綱

### (目的)

**第1条** 本事業は、在宅で人工呼吸器等を使用するなど高度な医学的管理を常時必要とする重症の小児慢性特定疾病児等（以下「重症患児」という）を対象に一時入院等支援事業（レスパイト事業）並びに介護者派遣事業を実施することで、在宅の重症患児及びその保護者の福祉の向上を図ることを目的として実施する。

### (事業の実施及び補助)

**第2条** この事業は、知事が適当と認める医療機関等が実施し、県は、実施医療機関等がこの要綱に基づいて行う事業のために支出する経費について、「沖縄県在宅小児慢性特定疾病児等レスパイト事業並びに介護者派遣事業補助金交付要綱」に基づき、予算の範囲内で補助するものとする。事業内容は以下の2事業とし、事業の内容等は別に定めるものとする。

- 第1 一時入院等支援事業（レスパイト事業）
- 第2 介護者派遣事業

### (対象児)

**第3条** 本事業の対象となる児は、次の各号に掲げる要件を全て満たす重症患児とする。

- (1) 小児慢性特定疾病等により在宅で療養を必要とする児
- (2) 人工呼吸器、気管切開など、高度な医学的管理を常時必要とする児
- (3) 沖縄県内に住所を有していること
- (4) その他知事が必要と認める者

### (調整)

**第4条** 重症患児の住所地を管轄する保健所は、重症患児の保護者及び事業実施機関と、事業の利用に関する調整を行うものとする。

### (事前協議)

**第5条** 本事業の利用を希望する重症患児の保護者は、申請を行う前に、重症患児の住所地を管轄する保健所と、事業の利用に際しての協議を行うものとする。

### (申請)

**第6条** 申請者（重症患児の保護者等）は、利用を希望する14日前までに、事業利用申請書（様式1）を、重症患児の住所地を管轄する保健所の長を通じて、知事に申請するものとする。ただし、保護者の介護状況等を鑑み、緊急性が極めて高いと知事が認めた場合はこの限りでない。